

# 令和7年度健康づくり審議会対がん戦略部会

## 兵庫県がん対策推進基本計画の 取組状況について

令和8年3月13日（金）

兵庫県保健医療部疾病対策課

# 第6次兵庫県がん対策推進計画(概要)

1

令和6年度～11年度(6年間)

## 全体目標

- がんによる罹患者・死亡者の減少の実現(罹患者:全国10位以内、死亡率:全国より5%以上低い)
- 新**がん患者一人ひとりに寄り添い、誰一人取り残さない兵庫の実現

### 1 がん予防の推進

- ア 生活習慣改善の推進
- イ たばこ対策の充実
- ウ 感染症に起因するがん対策の推進

### 2 早期発見の推進

- (1) がん検診機会の確保と受診促進支援
  - ア 市町の取組支援
  - イ 企業・職域との連携
  - ウ がん検診受診促進のための普及啓発
- (2) 適切ながん検診の実施
  - ア 事業評価・精度管理の実施
  - イ がん検診従事者の専門性の向上
  - ウ 新たながん検診等への対応

### 3 医療体制の充実

- (1) 個別がん対策の推進
  - ア 小児がん、AYA世代のがん対策
  - イ 高齢者のがん対策
  - ウ 肝がん対策
  - エ 石綿関連がん対策
- (2) 医療提供体制等
  - ア 拠点病院等におけるチーム医療体制の整備
  - イ 医療連携体制の構築
  - ウ がんの専門的な知識・技能を有する医療従事者の育成・配置
  - エ 情報の収集提供と治験・臨床研究の推進
- (3) がん患者の療養生活の質の維持向上
  - ア がんと診断された時からの緩和ケア等の推進
  - イ 在宅医療・介護サービス提供体制の充実

### 4 がん患者が安心して暮らせる社会の実現

- (1) がん患者への支援の充実
  - ア 相談支援体制の充実
  - イ 就労支援体制の充実
  - ウ **新**アピアランスケア
  - エ **新**がん患者やその家族の自殺対策
- (2) がん患者を支える社会の構築
  - ア がん教育及びがんに関する知識の普及啓発
  - イ 全国がん登録の推進

### 5 がん対策を総合的かつ計画的に推進するための事項

- (1) 関係者等の意見の把握と反映
- (2) **新**感染症発生・まん延時や災害等を見据えた対策
- (3) 必要な財政措置の実施と予算の効率化・重点化
- (4) 目標の達成状況の把握及び効果に関する評価
- (5) 本計画の見直し

項目	現状・課題	対応
がん予防の推進	<ul style="list-style-type: none"> <li>○運動や栄養に関する目標値は未達成</li> <li>○生活習慣の改善に向けた取組が必要</li> </ul>	適度な運動やバランスのより食生活等を推進
早期発見の推進	<ul style="list-style-type: none"> <li>○がん検診受診率は増加傾向</li> <li>○一部のがん種で目標値を達成 (男性の胃がん:50.2%(R4))</li> <li>○国計画で目標値を引き上げ(50%→60%)</li> </ul>	がん検診受診率の目標値 50%→60%
患者やその家族に寄り添った取組の推進	<ul style="list-style-type: none"> <li>○治療をしながら社会生活を送る患者が増加</li> <li>○患者やその家族の療養生活の質を向上させる必要性が高まってきている</li> </ul>	「アピアランスケア」や「患者やその家族の自殺対策」を新たに項目として記載
感染症発生時等を見据えた対策	<ul style="list-style-type: none"> <li>○第5次県計画に、感染症発生・まん延時や災害時等を見据えた対策に関する記述がない</li> <li>○国計画で新たに明記</li> </ul>	感染症発生時や災害時等の状況下においても、必要ながん医療が提供できるよう平時からの取組を推進
ロジックモデルの作成	<ul style="list-style-type: none"> <li>○がん施策の進捗管理や評価するにあたり有効</li> <li>○国計画で新たに作成</li> </ul>	111の指標を設定(内、県独自指標16)

# ロジックモデル（目標指標数）一覧（1）

3

分野	個別目標	指標数
1. 全体目標	がんによる罹患者・死亡者減少の実現	2
	がん患者一人ひとりに寄り添い、誰一人取り残さない兵庫の実現	7
2. がん予防の推進	生活習慣改善の推進	10
	たばこ対策の充実	10
	感染症に起因するがん対策の推進	5
3. 早期発見の推進	がん検診機会の確保と受診促進支援	5
	市町の取組支援	6
	企業・職域との連携	2
	がん検診受診促進のための普及啓発	1
	適切ながん検診の実施	5
	事業評価・精度管理の実施	5
	がん検診従事者の専門性の向上	1
4. 医療体制の充実	個別がん対策の推進	4
	小児がん、AYA世代のがん対策	1
	高齢者のがん対策	2
	肝がん対策	1
	石綿（アスベスト）関連がん対策	1
	医療提供体制等	5

分野	個別目標	指標数
4. 医療体制の充実	拠点病院等におけるチーム医療体制の整備	2
	医療連携体制の構築	2
	がんの専門的な知識・技能を有する医療従事者の育成・配置	1
	情報の収集提供と治験・臨床研究の推進	2
	がん患者の療養生活の質の維持向上	5
	がんと診断された時からの緩和ケア等の推進	2
	在宅医療・介護サービス提供体制の充実	4
5. がん患者が安心して暮らせる社会の実現	がん患者への支援の充実	7
	相談支援体制の充実	2
	就労支援体制の構築	4
	アピアランスケア	1
	がん患者の自殺対策等	2
	がん患者を支える社会の構築	1
	がん教育及びがんに関する知識の普及啓発	2
	全国がん登録の推進	1
合計		111

## ①がんによる罹患者・死亡者減少の実現

目標指標	策定時	現状
がんの75歳未満年齢調整死亡率	64.7 (R4)	62.5 (R6)
がんの年齢調整罹患率	368.6 (R2)	384.6 (R3)

## ②がん患者一人ひとりに寄り添い、誰一人取り残さない兵庫の実現

目標指標		策定時	現状
がん種別5年生存率	胃	68.0% (H31)	67.2% (R2)
	肺	38.4% (H31)	38.5% (R2)
	大腸	71.9% (H31)	71.1% (R2)
	乳	91.3% (H31)	89.0% (R2)
	子宮	74.8% (H31)	77.5% (R2)
	肝	36.4% (H31)	36.1% (R2)
現在自分らしい日常生活を送れていると感じるがん患者の割合		62.7% (H30)	84.2% (R5)

## ③生活習慣改善の推進

目標指標		策定時	現状
メタボリックシンドローム該当者割合		15.8% (R3)	15.6% (R5)
食塩摂取量の中央値		9.8g (R3)	R8判明予定
野菜摂取量の中央値		303.5 (R3)	R8判明予定
果物摂取量100g未満の人の割合		46.6% (R3)	R8判明予定
1日の歩数の平均値	男性	7,405 (R4)	9,098 (R6)
	女性	6,561 (R4)	7,689 (R6)
日常生活のなかで体を動かすことを習慣化している人の割合		36.5% (R3)	R8判明予定
生活習慣病のリスクを高める量を飲酒をしている人の割合		11.0% (R3)	R8判明予定
20歳未満の飲酒の割合		0.9% (R3)	R8判明予定
健康づくりチャレンジ企業登録社数		2,163社 (R4)	2,475社 (R7)

## ④たばこ対策の充実

目標指標		策定時	現状
習慣的に喫煙している人の割合	全体	12.4% (R3)	R8判明予定
	男性	23.7% (R3)	R8判明予定
	女性	4.0% (R3)	R8判明予定
受動喫煙の機会を有する者の割合	職場	21.6% (R3)	R8判明予定
	飲食店	17.3% (R3)	R8判明予定
	行政機関	3.5% (R3)	R8判明予定
	医療機関	4.6% (R3)	R8判明予定
	家庭	8.0% (R3)	R8判明予定
20歳未満喫煙割合		0% (R3)	R8判明予定
喫煙防止教室の開催回数		7回 (R4)	11回 (R6)

## ⑤感染症に起因するがん対策の推進

目標指標		策定時	現状
肝炎ウイルス検査の受診人数		1,361人（R4）	1,083人（R6）
HPVワクチンの実施率	1回目	43.5%（R4）	80.1%（R6）
	2回目	43.7%（R4）	66.2%（R6）
	3回目	36.8%（R4）	30.2%（R6）
肝炎医療コーディネーター数		1,297人（R4）	1,667人（R6）

## ⑥がん検診機会の確保と受診促進支援

目標指標		策定時	現状
検診受診率	胃	43.0%（R4）	R8判明予定
	肺	44.2%（R4）	R8判明予定
	大腸	43.2%（R4）	R8判明予定
	乳	42.8%（R4）	R8判明予定
	子宮	38.9%（R4）	R8判明予定

## ⑦市町の取組支援

目標指標		策定時	現状
受診勧奨実施市町村数	胃	33/41市町（R2）	38/41市町（R6）
	肺	33/41市町（R2）	35/41市町（R6）
	大腸	37/41市町（R2）	39/41市町（R6）
	乳	37/41市町（R2）	40/41市町（R6）
	子宮	37/41市町（R2）	40/41市町（R6）
普及啓発キャンペーンの取組市町村数		37/41市町（R2）	35/41市町（R6）

## ⑧企業・職域との連携

目標指標	策定時	現状
企業におけるがん検診受診促進事業助成人数	11,201人（R4）	12,664人（R6）
がん検診等受診率向上推進協定締結企業	24社（R5）	28社（R7）

## ⑨がん検診受診促進のための普及啓発

目標指標	策定時	現状
普及啓発キャンペーンの取組市町村数（再掲）	37/41市町（R2）	35/41市町（R6）

## ⑩適切ながん検診の実施

目標指標		策定時	現状
精密検査受診率	胃	78.8% (R3)	71.4% (R5)
	肺	81.6% (R3)	81.3% (R5)
	大腸	66.7% (R3)	68.8% (R5)
	乳	86.8% (R3)	85.9% (R5)
	子宮	76.2% (R3)	76.8% (R5)

## ⑪事業評価・精度管理の実施

目標指標		策定時	現状
検診委託仕様書に制度管理項目を明記している市町数	胃	18/39市町 (R4)	21/39市町 (R6)
	肺	19/40市町 (R4)	22/41市町 (R6)
	大腸	18/41市町 (R4)	22/41市町 (R6)
	乳	17/33市町 (R4)	22/41市町 (R6)
	子宮	14/28市町 (R4)	22/41市町 (R6)

## ⑫がん検診従事者の専門性の向上

目標指標	策定時	現状
がん検診を行う医療従事者研修会の受講人数	212人 (R4)	150人 (R6)

## ⑬個別がん対策の推進

目標指標	策定時	現状
がんの診断・治療全体の総合評価（平均点）	7.8点（H30）	8.2点（R5）
治療開始前に、生殖機能への影響に関する説明を受けたがん患者・家族の割合	25.0%（H30）	77.7%（R5）
75歳未満年齢調整死亡率（肝）	3.5（R4）	3.4（R6）
年齢調整罹患率（肝）	11.8（R2）	12.1（R3）

## ⑭小児がん、AYA世代のがん対策

目標指標	策定時	現状
若年がん患者妊孕性温存治療費助成事助成件数	88件（R4）	99件（R6）

## ⑮高齢者のがん対策

目標指標	策定時	現状
当該がん医療圏において地域の医療機関や在宅療養支援診療所等の医療・介護従事者とがんに関する医療提供体制や社会的支援、緩和ケアについて情報を共有し、役割分担や支援等について検討を行っている拠点病院等の数	18/18施設（R5）	18/18施設（R6）
意思決定能力を含む機能評価を行い各種ガイドラインに沿って、個別の状況を踏まえた対応をしている拠点病院等の数	18/18施設（R5）	18/18施設（R6）

## ⑩肝がん対策

目標指標	策定時	現状
肝炎医療コーディネーター数（再掲）	1,297人（R4）	1,667人（R6）

## ⑪石綿（アスベスト）関連がん対策

目標指標	策定時	現状
石綿関連相談受付件数	151件（R4）	152件（R6）

## ⑫医療提供体制等

目標指標	策定時	現状
がんの診断・治療全体の総合評価（平均点または評価が高い割合）（再掲）	7.8点（H30）	8.2点（R5）
医療スタッフ間で情報が十分に共有されていると感じた患者の割合	64.6%（H30）	83.3%（R5）
担当した医師ががんについて十分な知識や経験を持っていたと思う患者の割合	77.3%（H30）	87.7%（R5）
一般の人が受けられるがん医療は数年前と比べて進歩したと思う患者の割合	81.5%（H30）	85.6%（R5）
ゲノム情報を活用したがん医療についてがん患者が知っているという割合	23.1%（H30）	11.6%（R5）

## ⑱拠点病院等におけるチーム医療体制の整備

目標指標	策定時	現状
地域における相談支援や緩和ケアの提供体制・連携体制について協議し、体制整備を行った拠点病院等の数	18/18施設 (R5)	18/18施設 (R6)
医療機関としてのBCP*を策定している拠点病院等の数	17/18施設 (R5)	17/18施設 (R6)

## ⑳医療連携体制の構築

目標指標	策定時	現状
がん患者の口腔健康管理のため院内又は地域の歯科医師と連携して対応している拠点病院等の数	18/18施設 (R5)	18/18施設 (R6)
地域のお施設が開催する多職種連携カンファレンスへの参加数	183回 (R5)	207回 (R6)

## ㉑がんの専門的な知識・技能を有する医療従事者の育成・配置

目標指標	策定時	現状
学会等が認定する専門医（①日本医学放射線学会放射線治療専門医、②日本臨床腫瘍学会がん薬物療法専門医、③日本がん治療認定機構がん治療認定医）を複数部門配置している拠点病院等の数	18/18施設 (R5)	18/18施設 (R6)

## ②情報の収集提供と治験・臨床研究の推進

目標指標	策定時	現状
がんゲノム医療中核拠点病院等の数	2施設 (R5)	2施設 (R7)
希少がん診療を積極的に受け入れている拠点病院等の数又は他施設へ紹介する拠点病院等の数	18/18施設 (R5)	18/18施設 (R6)

## ③がん患者の療養生活の質の維持向上

目標指標	策定時	現状
身体的な苦痛を抱えるがん患者の割合	47.5% (H30)	35.7% (R5) ※1
精神心理的な苦痛を抱えるがん患者の割合	43.2% (H30)	26.9% (R5) ※2
がんと診断されてから病気や療養生活について相談できたと感じるがん患者の割合	72.6% (H30)	61.3% (R5)
家族の悩みや負担を相談できる支援が十分であると感じているがん患者・家族の割合	38.9% (H30)	46.8% (R5)
医療従事者が耳を傾けてくれたと感じた患者の割合	68.6% (H30)	90.5% (R5)

※1. 「身体の苦痛があるか」という設問に対し、H30では「あまりそう思わない、そう思わない」と回答した人、R5では「ややそう思う」「そう思う」と回答した人の割合を掲載

※2. 「気持ちがつらいか」という設問に対し、H30では「あまりそう思わない、そう思わない」と回答した人、R5では「ややそう思う」「そう思う」と回答した人の割合を掲載

## ②4 がんと診断された時からの緩和ケア等の推進

目標指標	策定時	現状
緩和ケア研修修了者数	7,651人 (R4)	8,812人 (R6)
がん疼痛緩和指導管理料届出医療機関数	484機関 (R4)	571機関 (R7)

## ②5 在宅医療・介護サービス提供体制の充実

目標指標	策定時	現状
若年者の在宅ターミナルケア支援実施市町数	26市町 (R4)	27市町 (R7)
在宅療養支援診療所数	951施設 (R4)	1,045施設 (R7)
多職種間連携システム(バィタルリンク)の導入地区数	32地区 (R4)	不明
地域の多施設が開催する多職種連携カンファレンスへの参加数(再掲)	183回 (R5)	207回 (R6)

## ②6 がん患者への支援の充実

目標指標	策定時	現状
がん相談支援センターについて知っているがん患者の割合	69.8% (H30)	60.1% (R5)
ピアサポーターについて知っているがん患者の割合	17.8% (H30)	9.8% (R5)
治療開始前に、就労継続について説明を受けたがん患者の割合	35.5% (H30)	48.6% (R5)
がんと診断後も仕事を継続していたがん患者の割合	80.8% (H30)	83.1% (R5)
身体的・精神心理的な苦痛により日常生活に支障を来しているがん患者の割合	67.4% (H30)	23.2% (R5) ※3
家族の悩みや負担を相談できる支援が十分であると感じているがん患者・家族の割合 (再掲)	38.9% (H30)	46.8% (R5)
外見の変化に関する悩みを誰かに相談ができたがん患者の割合	33.2% (H30)	25.8% (R5) ※4

※3. 「日常生活を送る上で困っていることがある」という設問に対し、H30では「あまりそう思わない、そう思わない」と回答した人、R5では「ややそう思う」「そう思う」と回答した人の割合を掲載

※4. H30では「外見の変化に関する悩みを誰かに相談できたか」という設問であったが、R5では「外見の変化に関する悩みを医療スタッフに相談できたか」に変更されている

## ⑳ 相談支援体制の充実

目標指標	策定時	現状
がん相談支援センターにおける相談件数	14,875件 (R4)	15,799件 (R6)
相談員研修を受講したがん相談支援センターの相談員の数	99人 (R4)	96人 (R6)

## ㉑ 就労支援体制の構築

目標指標	策定時	現状
拠点病院等のがん相談支援センターにおける就労に関する相談件数	887件 (R4)	1,340件 (R6)
拠点病院等における就労の専門家による相談会の回数	226回 (R4)	223回 (R6)
ハローワークと連携した就職支援をおこなっている拠点病院等の数	18/18施設 (R5)	18/18施設 (R6)
長期療養者就職支援事業を活用した就職者数	96人 (R3)	不明

## ㉒ アピアランスケア

目標指標	策定時	現状
拠点病院等におけるアピアランスに関する相談件数	11,738件 (R4)	12,939件 (R6)

## ③⑩がん患者の自殺対策等

目標指標	策定時	現状
緩和ケア研修修了者数 (再掲)	7,651件 (R4)	8,812人 (R6)
自殺リスクに関する研修を実施した拠点病院等の数	4/18施設 (R4)	6/18施設 (R6)

## ③⑪がん患者を支える社会の構築

目標指標	策定時	現状
がんについて恐ろしい病気であるであると回答した者の割合	64.2% (R4)	R9判明予定

## ③⑫がん教育及びがんに関する知識の普及啓発

目標指標	策定時	現状
外部講師を活用してがん教育を実施した学校の割合	3.6% (R3)	6.1% (R5)
拠点病院等で実施した、地域を対象とした、がんに関するセミナー等の開催回数 (総数)	41回 (R5)	92回 (R6)

## ③⑬全国がん登録の推進

目標指標	策定時	現状
全国がん登録実務者向け研修申込者数	225人 (R5)	246人 (R6)